

S&P500・4倍ブル型ファンド

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式／特殊型(ブル・ベア型)
信 託 期 間	2022年2月17日から2025年2月17日まで
運 用 方 針	日々の基準価額の値動きが米国の株価指数であるS&P500指数における米ドルベースでの日々の騰落率の概ね4倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。
主要運用対象	・VAULT Investments plcが発行する円建債券を主要投資対象とします。 ・特別目的会社VAULT Investments plcが発行する円建パフォーマンス・リンク債券(以下「担保付円建債券」ということがあります。)への投資を通じて、日々の基準価額の値動きが米国の株価指数であるS & P 500指数における米ドルベースでの日々の騰落率の概ね4倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。 ・担保付円建債券の組入比率は、高位とすることを基本とします。 ・担保付円建債券は、S&P500先物を投資対象とするクレディ・スイス・クアドルブル・ブル・US・ラージキャップ・エクイティ・JPY・トータルリターン・インデックスに連動する投資成果の獲得を目指します。なお、当該インデックスのS&P500先物に対する目標レバレッジ率は400%です。 ・資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
組 入 制 限	・担保付円建債券への投資割合には、制限を設けません。 ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時(2月17日、休業の場合は翌営業日)に分配を行います。 分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ただし、必ず分配を行うものではありません。

第2期運用報告書(全体版)

(決算日 2024年2月19日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「S & P 500・4倍ブル型ファンド」は、2024年2月19日に第2期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 券 組入比率	債 券 先物比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率			
設 定 日	円	円	%	%	%	百万円
2022年 2 月 17 日	10,000	—	—	—	—	30
1 期 (2023年 2 月 17 日)	5,070	0	△ 49.3	98.9	—	917
2 期 (2024年 2 月 19 日)	8,502	0	67.7	99.6	—	1,755

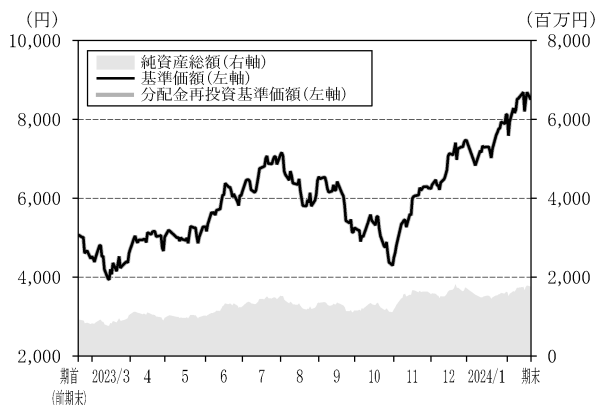
(注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、S & P 500指数(米ドルベース)の日々の値動きの「概ね4倍程度」となる投資成果を目指すものであり、投資家ごとの保有期間中の投資成果が「概ね4倍程度」になるとは限りません。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2日以上離れた日との比較においては、「概ね4倍程度」の投資成果が得られるわけではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組入比率	債 券 先物比率
		騰落率		
期 首 (前期末)	円	%	%	%
2023年 2 月 17 日	5,070	—	98.9	—
2 月 末	4,524	△ 10.8	98.0	—
3 月 末	4,710	△ 7.1	98.8	—
4 月 末	5,014	△ 1.1	99.0	—
5 月 末	5,281	4.2	99.0	—
6 月 末	6,164	21.6	100.3	—
7 月 末	7,105	40.1	98.2	—
8 月 末	6,543	29.1	99.9	—
9 月 末	5,249	3.5	100.1	—
10 月 末	4,497	△ 11.3	100.5	—
11 月 末	6,241	23.1	99.7	—
12 月 末	7,460	47.1	98.2	—
2024年 1 月 末	8,105	59.9	98.4	—
期 末				
2024年 2 月 19 日	8,502	67.7	99.6	—

(注) 基準価額は1万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、S & P 500指数(米ドルベース)の日々の値動きの「概ね4倍程度」となる投資成果を目指すものであり、投資家ごとの保有期間中の投資成果が「概ね4倍程度」になるとは限りません。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2日以上離れた日との比較においては、「概ね4倍程度」の投資成果が得られるわけではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■ 基準価額等の推移



第2期首：5,070円

第2期末：8,502円(既払分配金0円)

騰落率：67.7%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年2月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

特別目的会社VAULT Investments plcが発行する円建パフォーマンス・リンク債券への投資を通じて、日々の基準価額の値動きが米国の株価指数であるS & P 500指数(米ドルベース)の日々の騰落率の概ね4倍程度となる投資成果を目指して運用を行いました。米国株式市場が上昇した結果、基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

■ 投資環境

【米国株式市況】

当期の米国株式市場は、上昇しました。期初から2023年7月中旬にかけては、米景気減速に伴う物価上昇圧力の減退が期待される中で、そのトレンドに反する経済指標を受けた金融政策引締め長期化観測や地銀破綻に端を発する金融システムの不安などから下落する局面もありましたが、米政府主導の預金保護に向けた積極的なアクションや救済策により金融システム不安が後退したことに加え、好調な米企業経済活動などを背景に上昇しました。7月下旬から10月にかけては、インフレ圧力減退による利上げ打ち止め観測や米景気のソフトランディング期待などの強気材料と大手格付会社が米国債や米国中堅銀行の格下げを発表したことや政府閉鎖懸念、金融政策引締めの長期化観測などに加え、中東での地政学的リスクの高まりなどの弱気材料が交錯し、上下動を繰り返しながら下落しました。11月から12月にかけては、労働市場の軟化や景気減速傾向を示唆する経済指標に加え、FRB(米連邦準備制度理事会)が政策金利を据え置いたことで利上げが終了し早期に利下げを行うとの期待が強

まったことなどから上昇しました。2024年1月から期末にかけては、市場予想を上回る物価関連の経済指標や米金融当局による早期利下げ期待への牽制を受けて下落する場面もありましたが、根強い早期利下げ観測と半導体需要に対する期待などを背景に上昇しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、特別目的会社VAULT Investments plcが発行する円建パフォーマンス・リンク債券(以下「担保付円建債券」といいます。)を高位に組入れました。組入比率は、追加設定・解約や組入債券の価格の変動による運用資産の増減はありましたが、概ね高位で推移しました。残りの資産につきましては、コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金(税込み)は、基準価額水準、市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。収益分配に充てなかった収益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

担保付円建債券を高位に組入れ、実質的に、日々の基準価額がS&P500指数(米ドルベース)の値動きの概ね4倍程度となる投資成果を目指して運用を継続する方針です。

S&P 500[®]はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社(「SPDJI」)の商品であり、これを利用するライセンスがT&Dアセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's[®]およびS&P[®]、S&P 500[®]、US 500[™]、The 500[™]は、Standard & Poor's Financial Services LLC(「S&P」)の登録商標で、Dow Jones[®]は、Dow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標です。これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスがT&Dアセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。S&P500・4倍ブル型ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P 500[®]のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

1 万口当たりの費用明細 (2023年 2 月 18日から2024年 2 月 19日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2023/ 2 /18～2024/ 2 /19		
	金額	比率	
平均基準価額	5,907円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	74円 (33) (39) (2)	1.250% (0.553) (0.664) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用)	4 (4) (1)	0.075 (0.060) (0.015)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	78	1.325	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

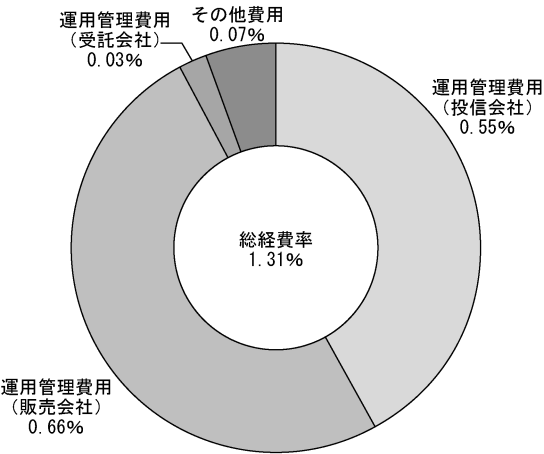
(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1 万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1 口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、1.31%です。



(注) 費用は、1 万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2023年2月18日から2024年2月19日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国	社 債 券	1, 342, 882	1, 342, 152

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

当期中の主要な売買銘柄 (2023年2月18日から2024年2月19日まで)

公社債

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
VAULT Series 124 0% (担保付円建債券)	1, 342, 882	VAULT Series 124 0% (担保付円建債券)	1, 342, 152

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2023年2月18日から2024年2月19日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2023年2月18日から2024年2月19日まで)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
千円	千円	千円	千円	
30, 000	—	—	30, 000	当初設定時又は当初運用時における取得等

(注) 単位未満は切捨て。

組入資産の明細 (2024年 2 月19日現在)

公社債

(A) 国内 (邦貨建) 公社債<種類別>

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
普 通 社 債 券	千円	千円	%	%	%	%	%
	2, 043, 000	1, 748, 215	99. 6	99. 6	—	99. 6	—
	(2, 043, 000)	(1, 748, 215)	(99. 6)	(99. 6)	(—)	(99. 6)	(—)
合 計	2, 043, 000	1, 748, 215	99. 6	99. 6	—	99. 6	—
	(2, 043, 000)	(1, 748, 215)	(99. 6)	(99. 6)	(—)	(99. 6)	(—)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) B B 格以下には無格付けを含みます。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内 (邦貨建) 公社債<銘柄別>

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
(普通社債券)	%	千円	千円	
VAULT Series 124 0%(担保付円建債券)	—	2, 043, 000	1, 748, 215	2027/ 2 /17
合 計		2, 043, 000	1, 748, 215	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2024年 2 月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円	%
	1, 748, 215	92. 0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	152, 005	8. 0
投 資 信 託 財 産 総 額	1, 900, 220	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年2月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,900,220,032円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	152,004,502
公 社 債(評価額)	1,748,215,530
(B) 負 債	144,316,515
未 払 金	31,995,710
未 払 解 約 金	103,062,792
未 払 信 託 報 酬	9,152,612
未 払 利 息	164
そ の 他 未 払 費 用	105,237
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,755,903,517
元 本	2,065,400,087
次 期 繰 越 損 益 金	△ 309,496,570
(D) 受 益 権 総 口 数	2,065,400,087口
1 万口当たり基準価額 (C / D)	8,502円

(注) 期首元本額 1,810,310,108円
 期中追加設定元本額 6,587,098,989円
 期中一部解約元本額 6,332,009,010円

(注) 元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は309,496,570円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.8502円です。

損益の状況

当期 自2023年2月18日 至2024年2月19日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	139,969円
受 取 利 息	24
そ の 他 収 益 金	153,989
支 払 利 息	△ 14,044
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	399,051,461
売 買 益	726,255,724
売 買 損	△ 327,204,263
(C) 信 託 報 酬 等	△ 16,944,032
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	382,247,398
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,532,204
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 693,276,172
(配 当 等 相 当 額)	(31,771,288)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 725,047,460)
(G) 合 計 (D + E + F)	△ 309,496,570
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 309,496,570
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 693,276,172
(配 当 等 相 当 額)	(31,771,288)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 725,047,460)
分 配 準 備 積 立 金	383,779,602

(注) 損益の状況の中で

(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(133,191円)、費用控除後の有価証券売買等損益(382,113,785円)、収益調整金(31,771,288円)および分配準備積立金(1,532,626円)より、分配対象収益は415,550,890円(1万口当たり2,011円)となりましたが、当期の分配は見送らせていただきました。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位: 円・%、1 万口当たり・税引前)

項目	当期
	2023年 2 月 18 日 ～2024年 2 月 19 日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2, 011

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

※元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。